

地域から非戦を宣言

「無防備条例」制定を

市川の市民らが署名活動

戦争をしない国づくりを地域から始めようと、市川の市民らが18日、非戦を宣言する「平和・無防備条例」制定を市長に直接請求するための署名活動を始める。条例案はジュネーブ条約に基づ

保護などを定めたジュネーブ条約(国際人道法)の追加第一議定書第59条の「無防備地域宣言」を根拠としている。軍事行動を支援しないなど、一定要件を満たした宣言をした地域を攻撃した場合、戦争犯罪として国際刑事裁判所(日本は同裁判所規程を未批准)で裁かれることになる。戦争協力しない地域を増やすことで、戦争そのものがない世界を目指している。

く内容になっており、04年春の大阪市を皮切りに、これまで全国10地域で制定を目指す運動が起きている。県内では初めて。地方自治法上、来月17日までの1カ月間で、有権者数の50分の1にあたる約7500人分を集める必要がある。活動を行うメンバーは、協力を呼び掛けている。

この条例案は、民間人

保護などを定めたジュネーブ条約(国際人道法)の追加第一議定書第59条の「無防備地域宣言」を根拠としている。軍事行動を支援しないなど、一定要件を満たした宣言をした地域を攻撃した場合、戦争犯罪として国際刑事裁判所(日本は同裁判所規程を未批准)で裁かれることになる。戦争協力しない地域を増やすことで、戦争そのものがない世界を目指している。

立した。現在までに市内外の170人が賛同人として名を連ねている。集まった署名は市長に提出され、条例案は市議会総務委員会での議論を経て、本会議で採決される。成立すれば全国初の条例となる。

田口代表らは「宣言は、そもそも武器がなければ戦争は始められないというのが基本理念。制定を目指す署名活動や議会での議論をきっかけに、平和について考えてほしい」と話している。

同会は協力者やスタッフ、カンパを募集している。問い合わせは(公)047・3322・0715へ。【中川紗矢子】

